
ポケットカード株式会社

2015年2月期第2四半期

決算説明会

代表取締役社長 **渡辺 恵一**

暮らしを
クリエイティブに↗

お客様が求める商品とは何か。
お客様が喜ぶサービスとは何か。
お客様に選ばれるカードとは何か。
お客様の暮らしをクリエイティブに、私たちの挑戦はこれからも続きます。



P-one カード<Standard>



ファミマTカード

2015年2月期第2四半期 業績概況

業績概況

百万円

	13年8月期	14年8月期	前年同期比	増減率	<参考> 2Q業績予想 (4/10公表)
① 営業収益	17,126	18,006	+879	+5.1%	17,500
② 営業利益	1,868	2,529	+661	+35.4%	2,900
③ 経常利益	1,868	2,540	+671	+35.9%	2,900
④ 当期純利益	1,084	1,272	+187	+17.3%	1,400

営業利益 前年同期差異要因

	13年8月期	14年8月期	前年同期差
営業利益	18.6 億円	25.2 億円	+6.6 億円

増益要因 +22.6 億円

ショッピング収益 増
+15.6

その他収益 増 +4.7

金融費用 減 +2.0

貸倒・利息返還関連費用 減 +0.3

減益要因 -16.0 億円

キャッシング収益 減
-11.5

その他販売管理費 増
-4.5

営業利益
18.6

営業利益
25.2

13/8期

14/8期

取扱高

百万円

	13年8月期	14年8月期	前年同期比	増減率
① 信用購入 あっせん	188,872	201,858	+12,986	+6.9%
② 融資	16,538	16,302	-236	-1.4%
③ その他	2,303	2,404	+100	+4.4%
④ 合計	207,714	220,565	+12,850	+6.2%

債権残高

百万円

	13年8月期	14年8月期	前年同期比	増減率
① 割賦売掛金	152,197	171,426	+19,229	+12.6%
② 営業貸付金	65,274	52,076	-13,197	-20.2%
③ 合計	217,471	223,503	+6,031	+2.8%

営業収益

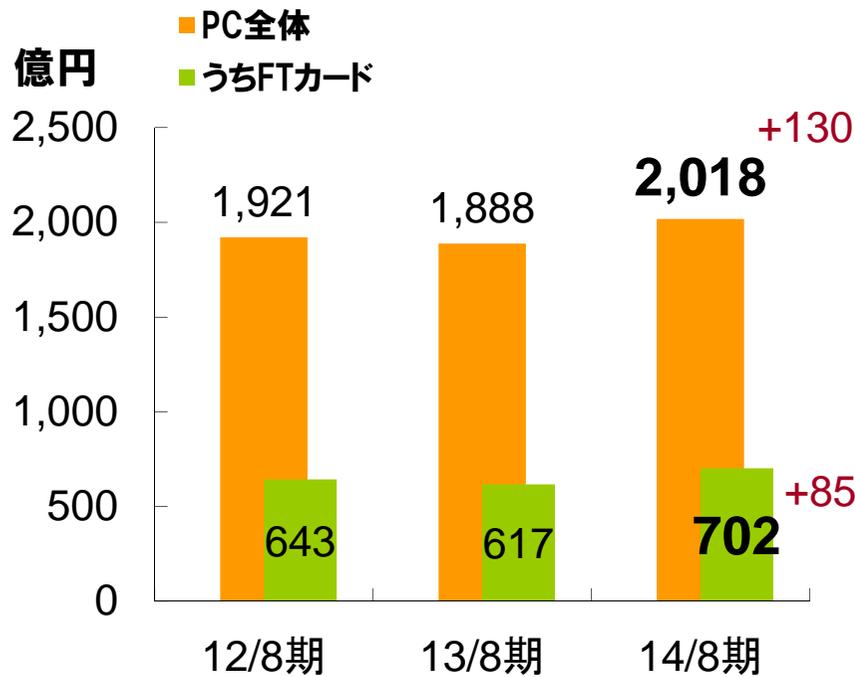
百万円

	13年8月期	14年8月期	前年同期比	増減率
① 信用購入 あっせん	10,198	11,760	+1,561	+15.3%
② 融資	5,325	4,169	-1,156	-21.7%
③ その他	1,602	2,076	+474	+29.6%
④ 合計	17,126	18,006	+879	+5.1%

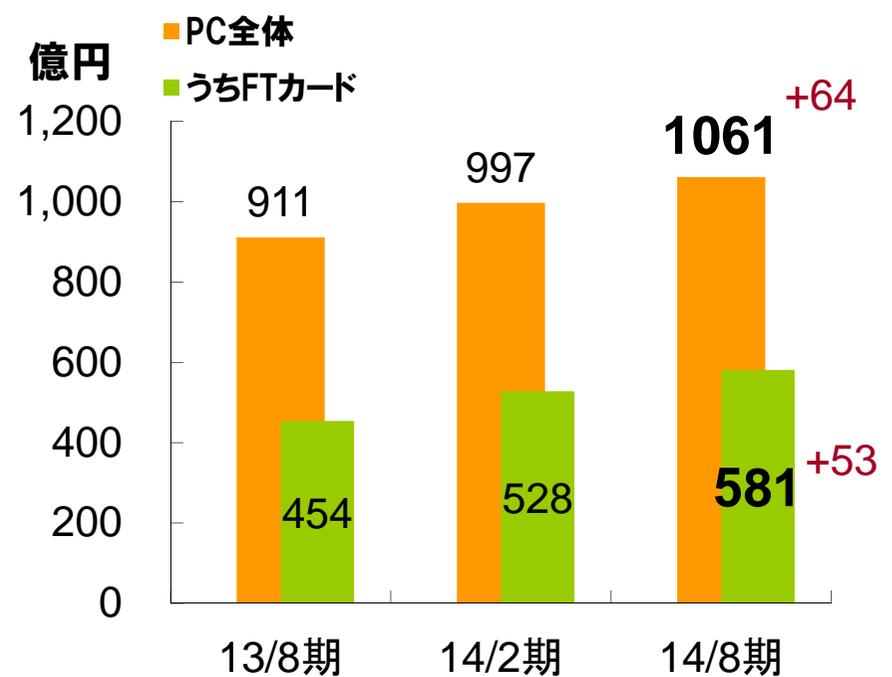
信用購入あっせん部門①

増税前の駆け込み需要により取扱高は増加
ファミマTカードを中心にショッピングリボ残高は順調に拡大

取扱高



ショッピングリボ残高

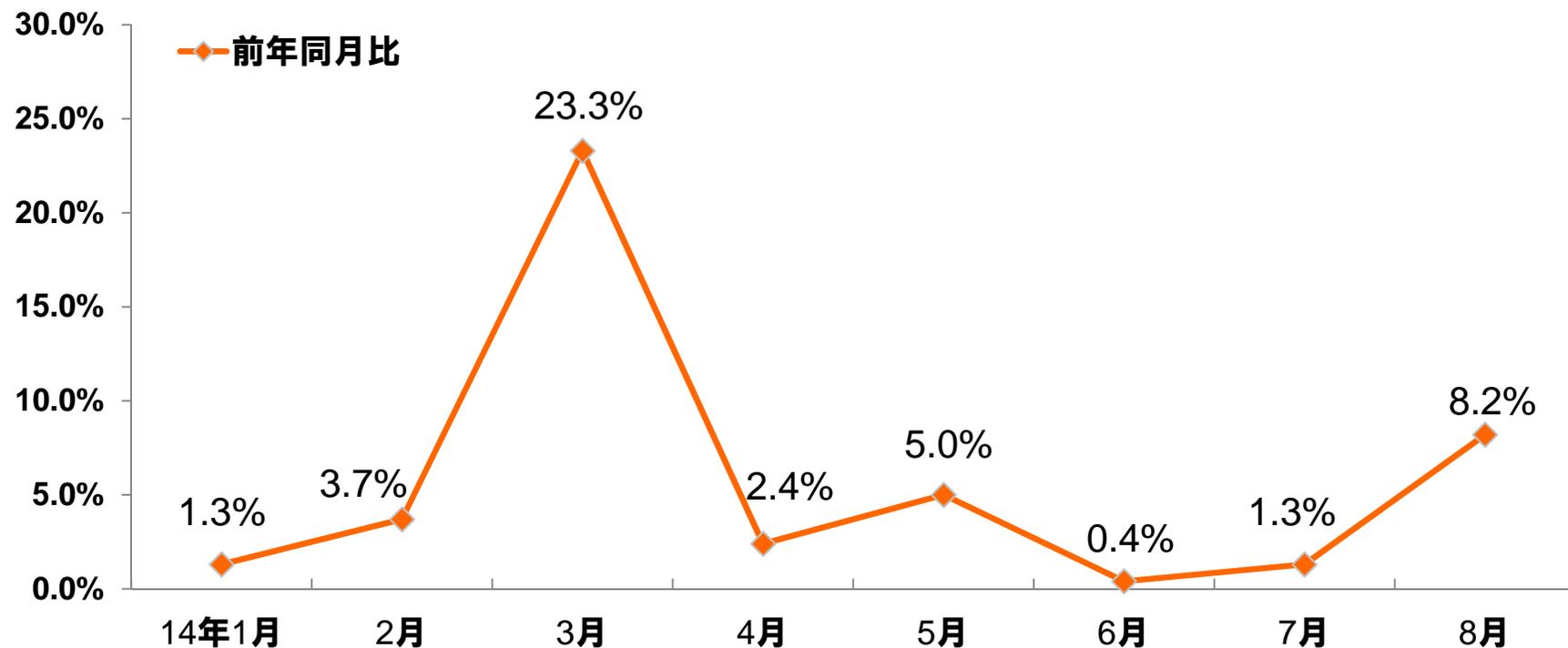


※12年8月期のPC全体は連結数値を比較対象として掲載しております。

信用購入あっせん部門②

3月のショッピング取扱高は駆け込み需要で大幅増
4月以降もプラス基調を維持した概ね堅調な推移

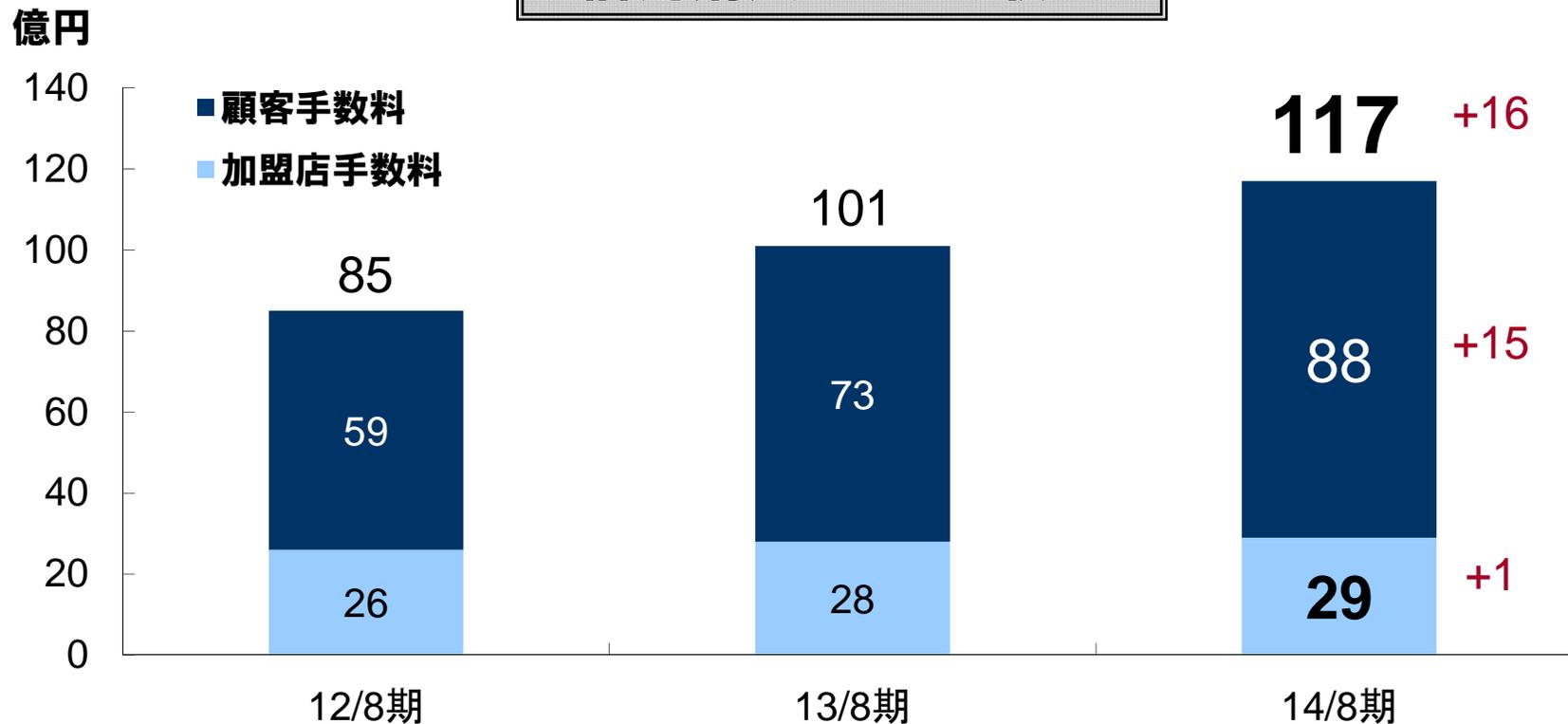
ショッピング取扱高前年同月比



信用購入あっせん部門③

ショッピングリボ残高の順調な拡大に伴い
顧客手数料が増収の牽引役に

信用購入あっせん収益

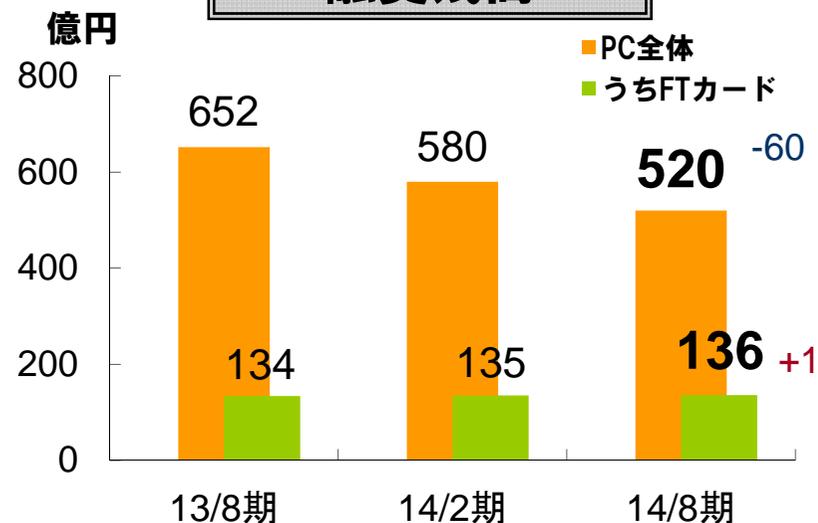


※12年8月期は連結数値を比較対象として掲載しております。

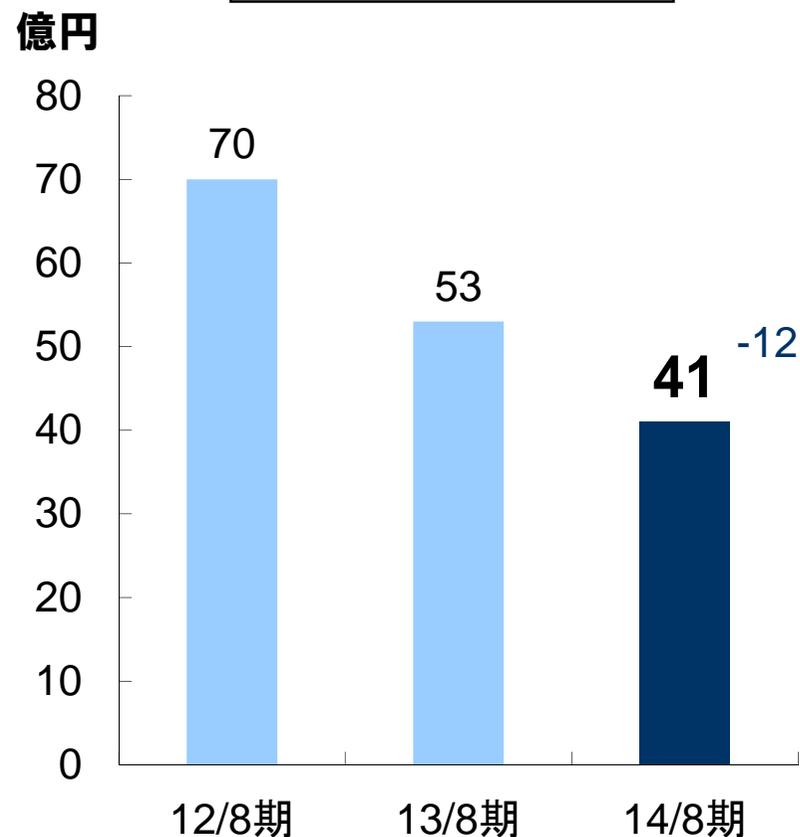
融資部門

残高減少、利回り低下により融資収益は減収

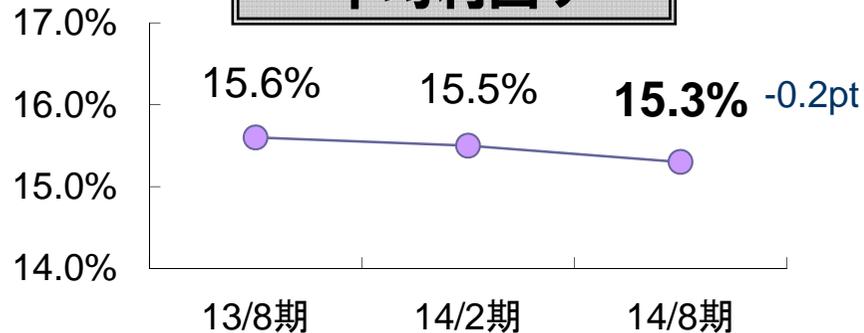
融資残高



融資収益



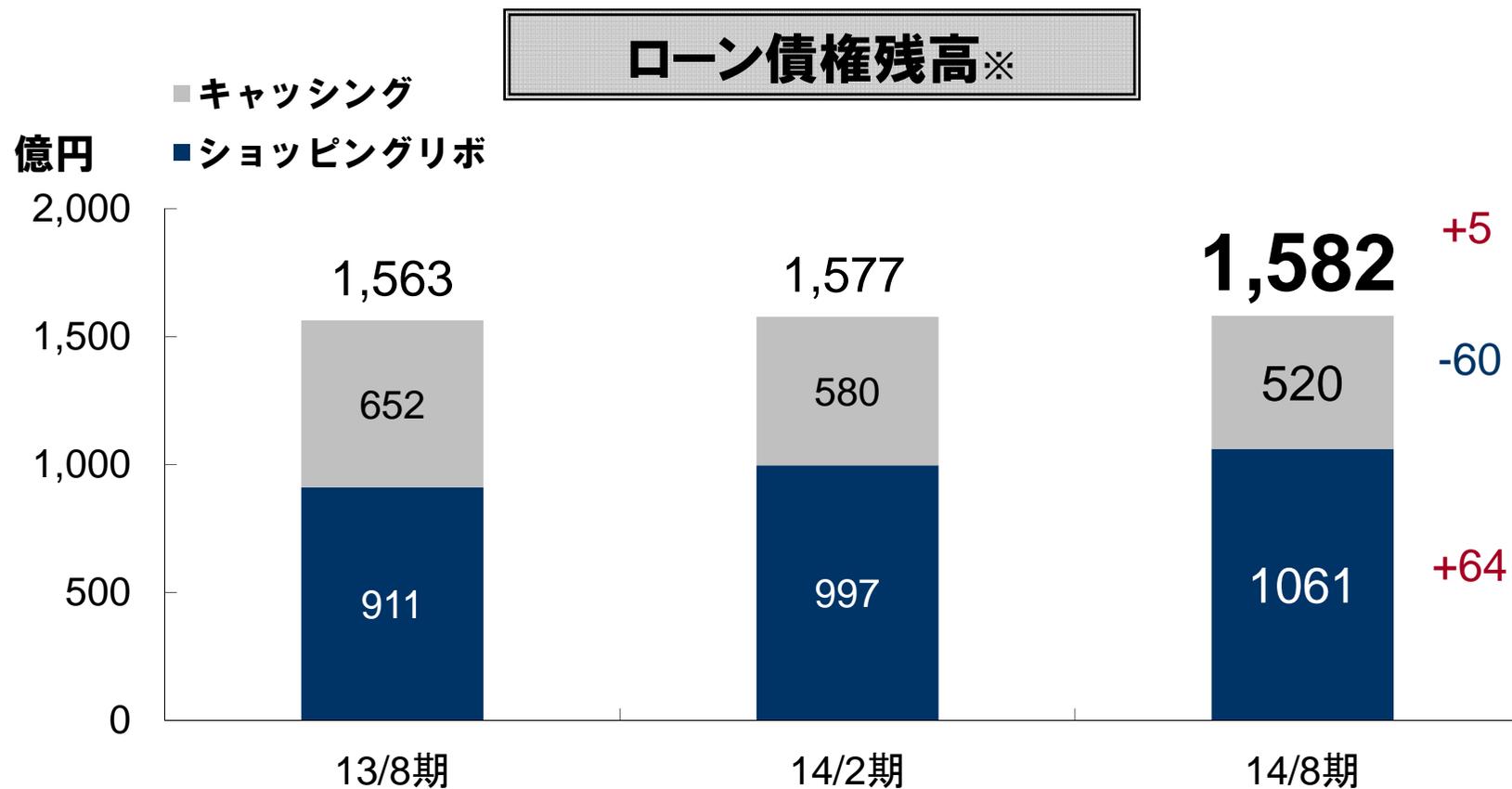
平均利回り



※12年8月期は連結数値を比較対象として掲載しております。

ローン債権残高

ショッピングリボの拡大によりキャッシング減少分をカバー
ローン債権残高全体では増加傾向を継続

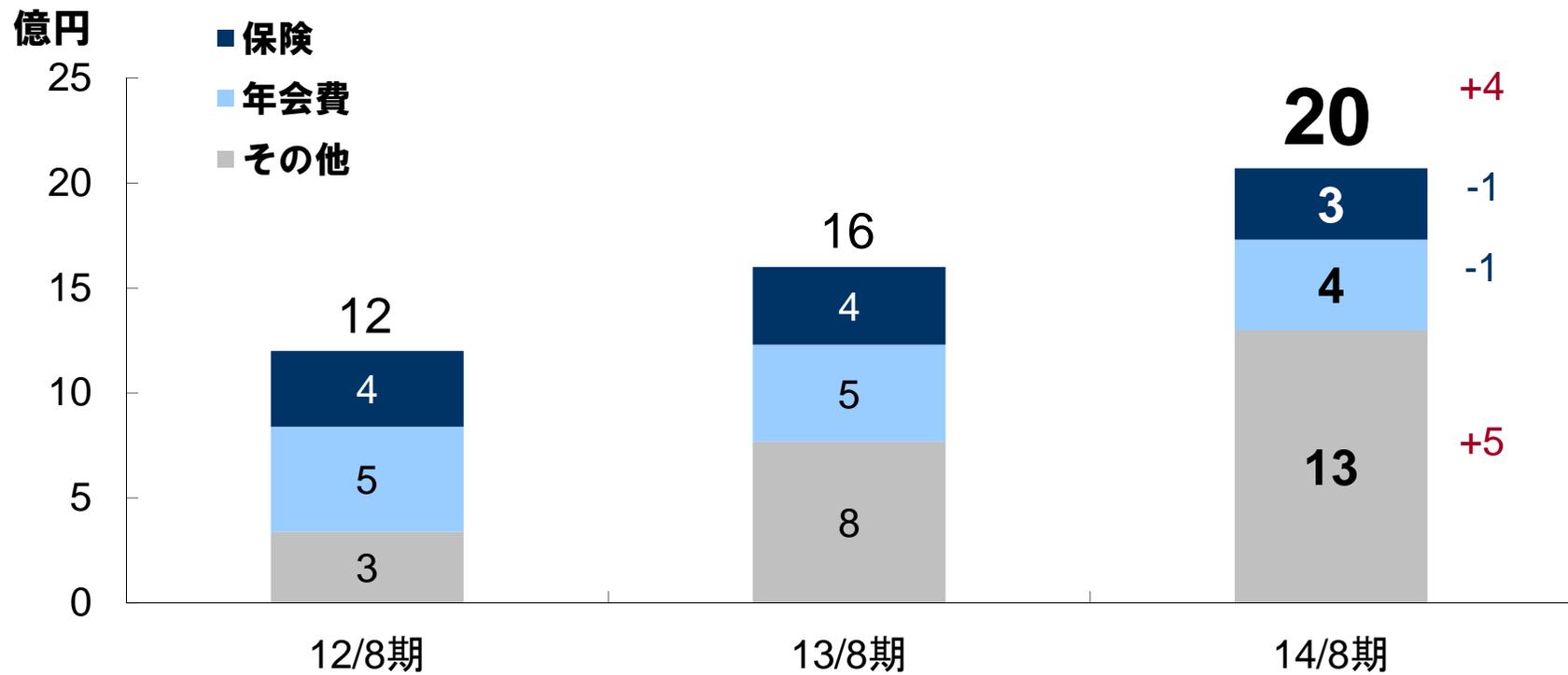


※ローン債権残高=ショッピングリボ残高+キャッシング残高

その他営業収益

ファミリーマート社受託業務の増加により
その他営業収益は増加

その他営業収益



※12年8月期は連結数値を比較対象として掲載しております。

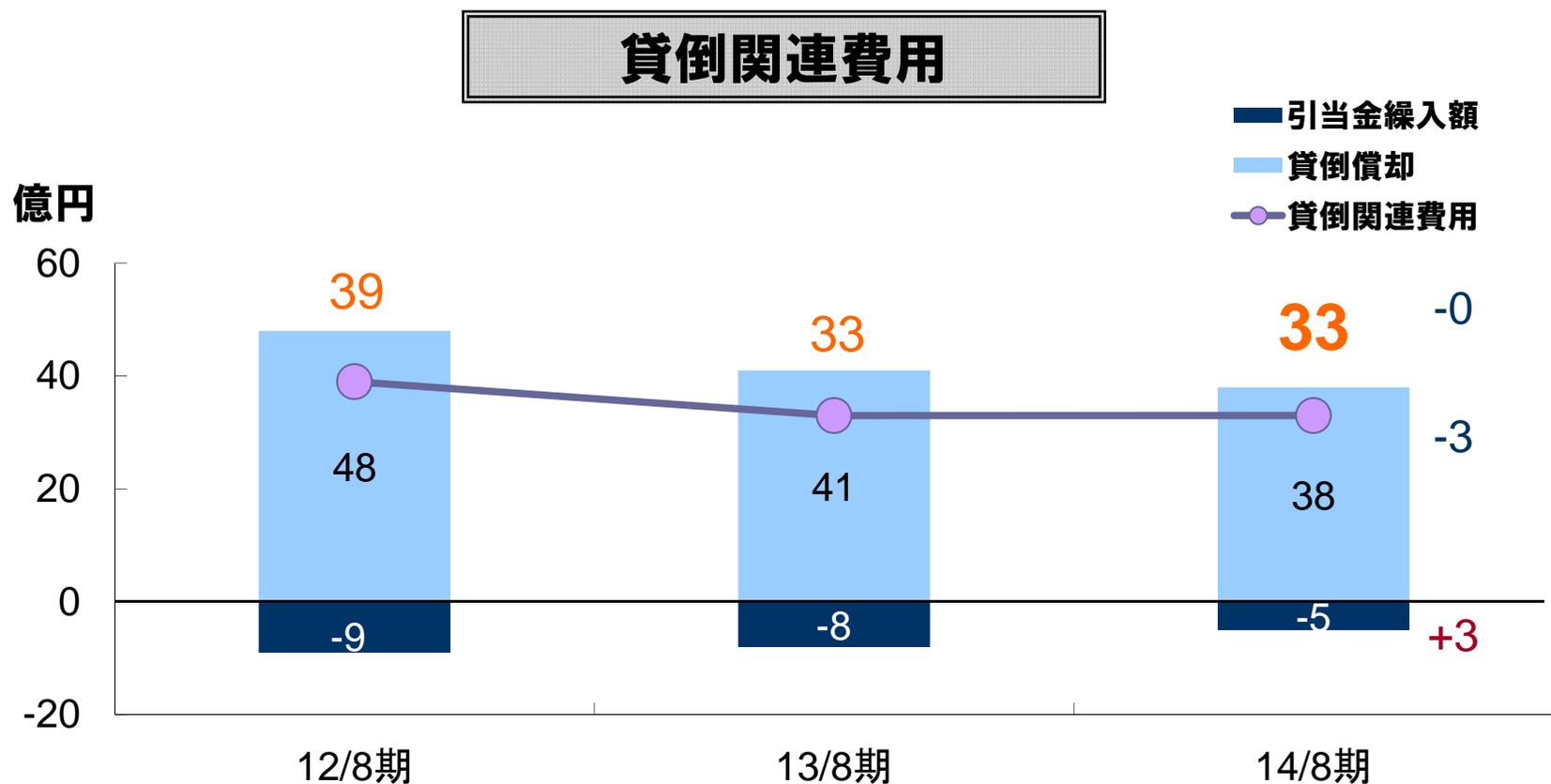
営業費用

百万円

	13年8月期	14年8月期		
			前年同期比	増減率
① 金融費用	944	736	-207	-22.0%
② 販売管理費	14,313	14,740	+426	+3.0%
③ 貸倒関連費用	3,297	3,256	-40	-1.2%
④ 利息返還関連費用	1,871	1,879	+7	+0.4%
⑤ その他 販売管理費	9,144	9,603	+459	+5.0%
⑥ 営業費用	15,258	15,476	+218	+1.4%

貸倒関連費用

貸倒関連費用は概ね横ばいの水準

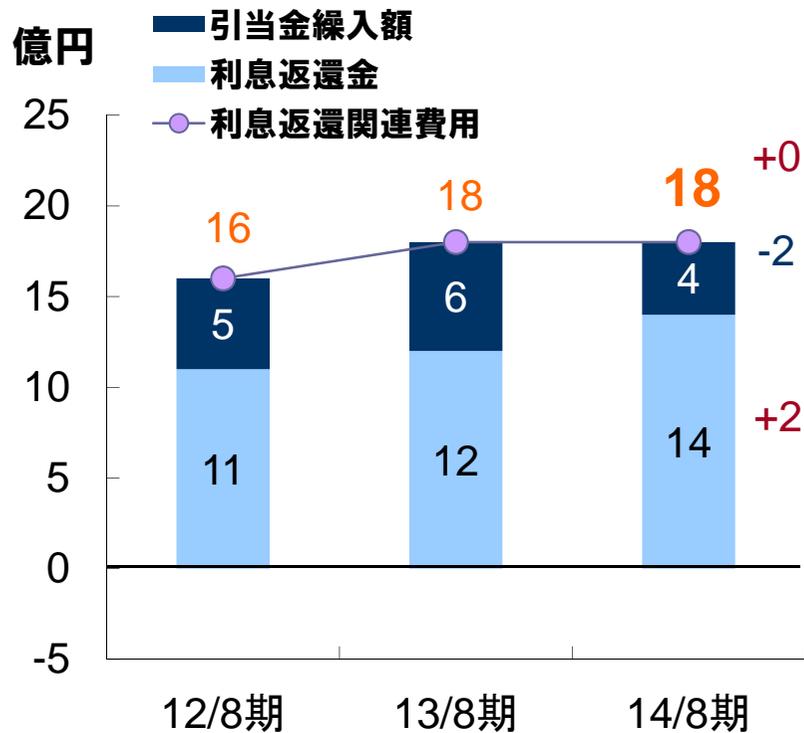


※12年8月期は連結数値を比較対象として掲載しております。

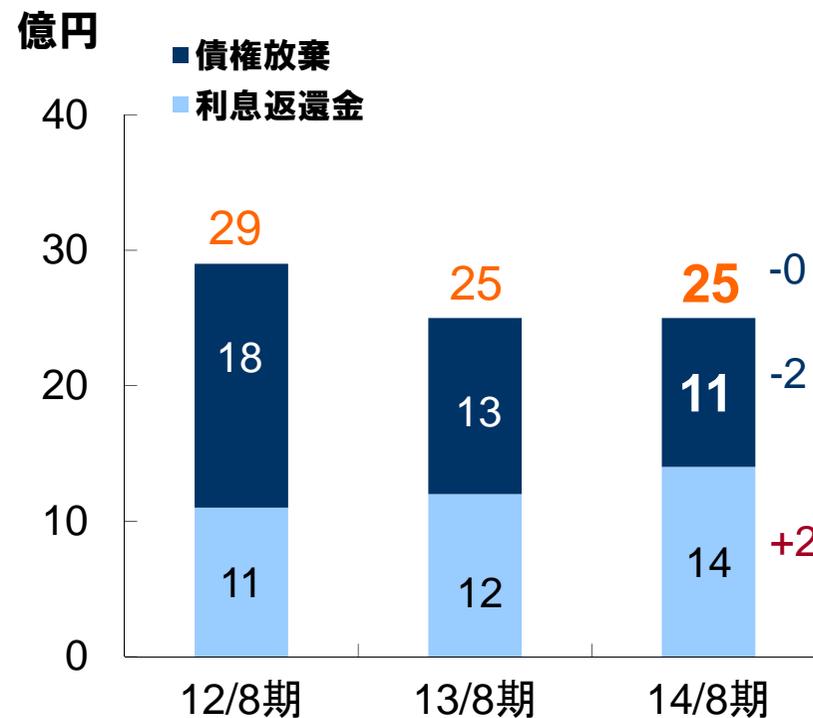
利息返還関連費用①

完済顧客からの請求増加により利息返還金は増加するも
債権放棄との合算では前年同期から横ばいの水準

利息返還関連費用



利息返還金+債権放棄

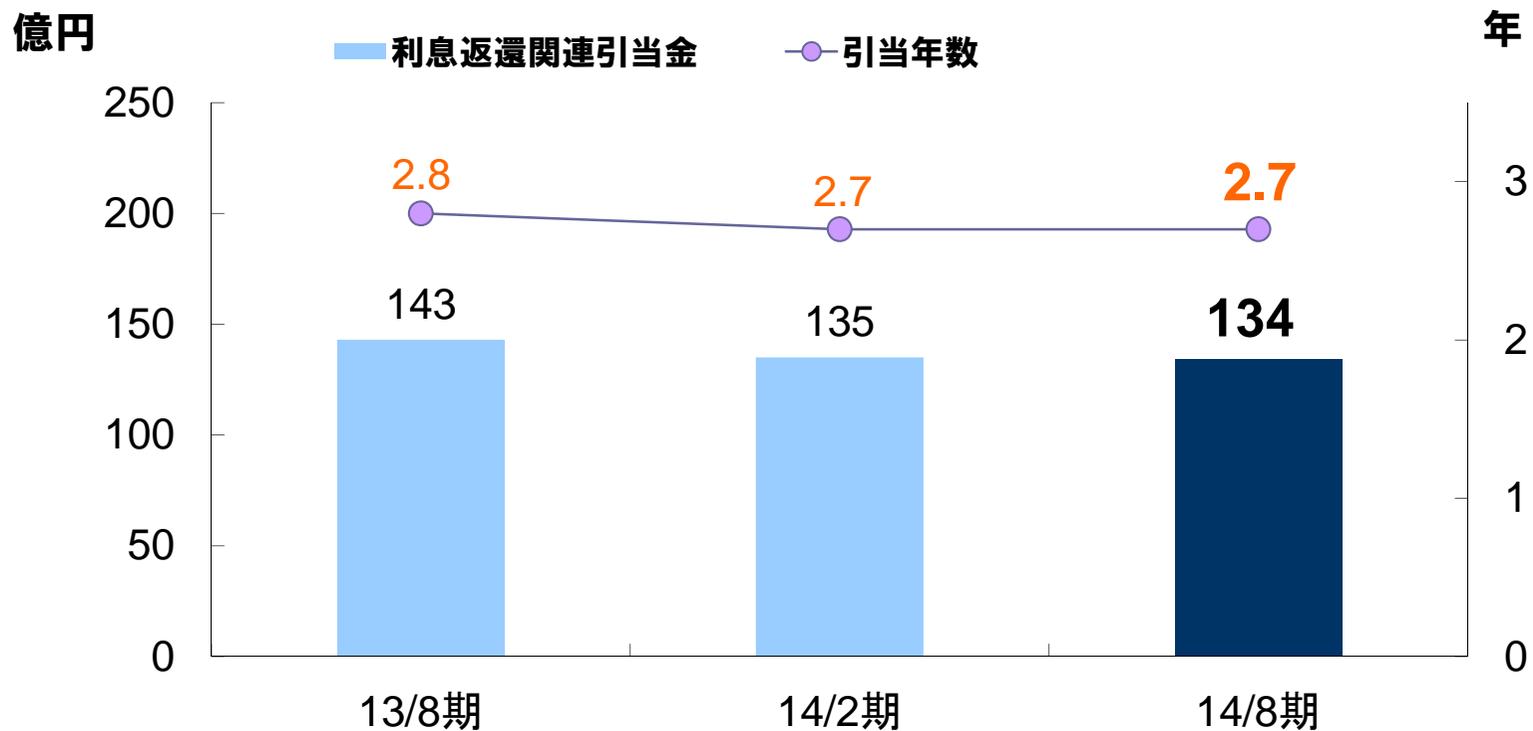


※12年8月期は連結数値を比較対象として掲載しております。

利息返還関連費用②

利息返還関連引当金の引当年数は2.7年と保守的な水準を維持

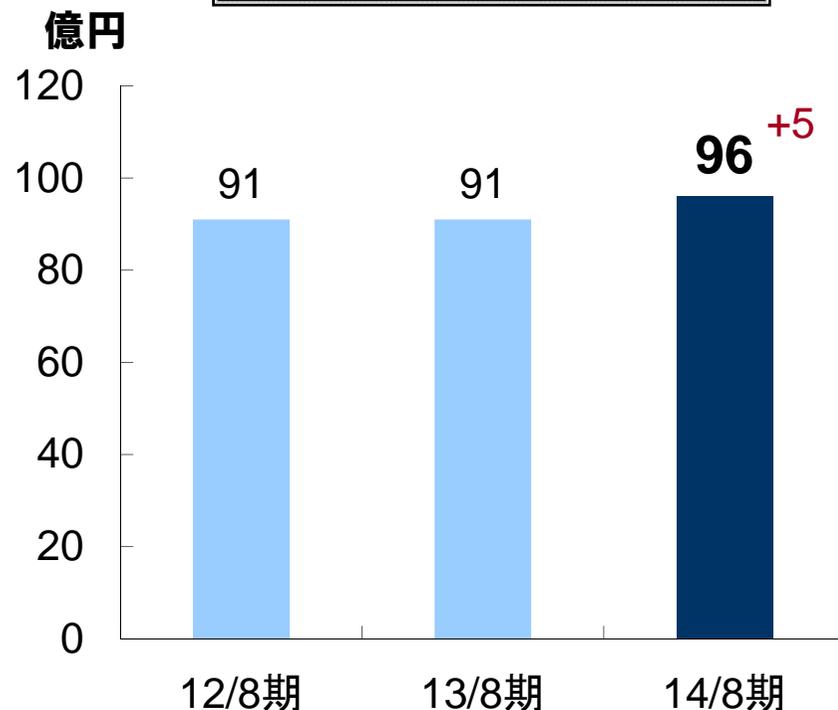
利息返還引当金



その他販売管理費

ファミリーマート社受託業務・取扱高拡大に伴う連動費用増、消費税負担増等により、その他販売管理費は前年同期比増加

その他販売管理費



※12年8月期は連結数値を比較対象として掲載しております。

主な費用増加要因

前年同期比6.7億円増加

- (1) FM受託業務増加による連動費用、取扱高連動費用増加
- (2) 消費税負担増

主な費用減少要因

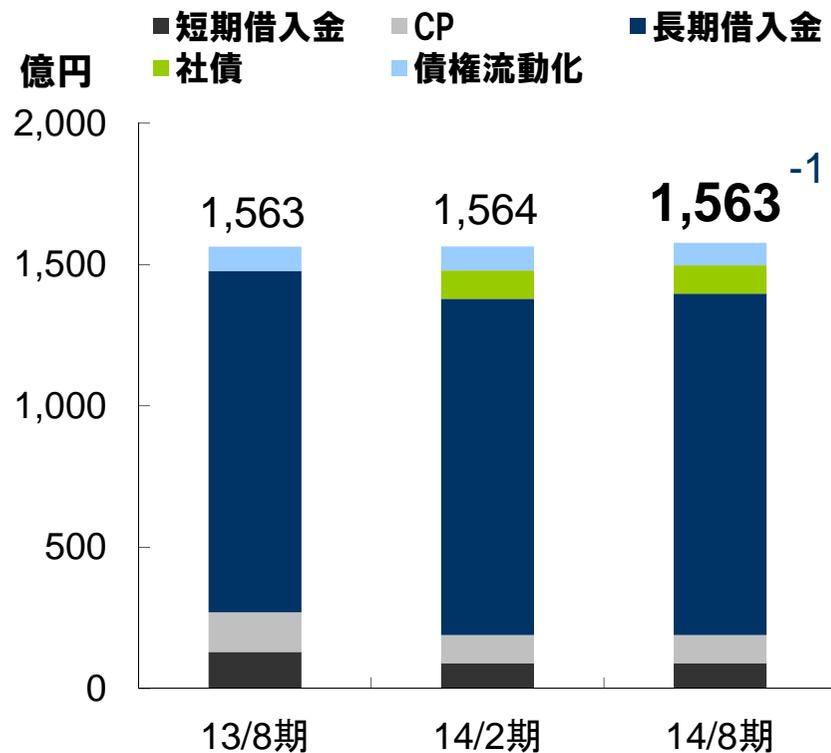
前年同期比2.2億円減少

- (1) カード発行連動経費減少
- (2) システム償却期間終了に伴う減価償却費減少

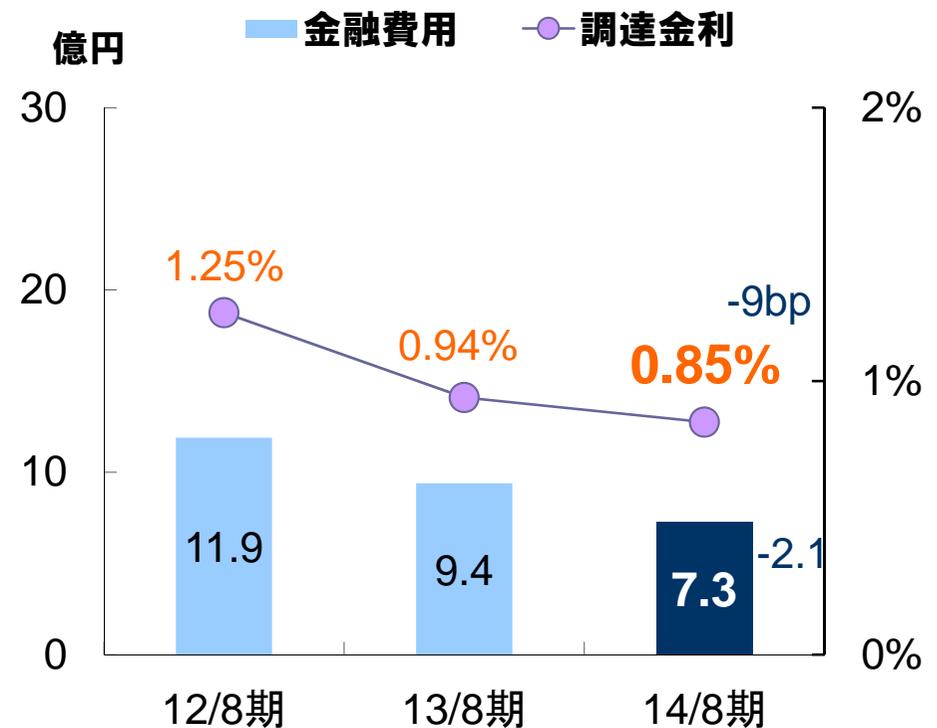
資金調達

調達金利の低下により金融費用は減少

調達総額



金融費用/調達金利



※12年8月期は連結数値を比較対象として掲載しております。

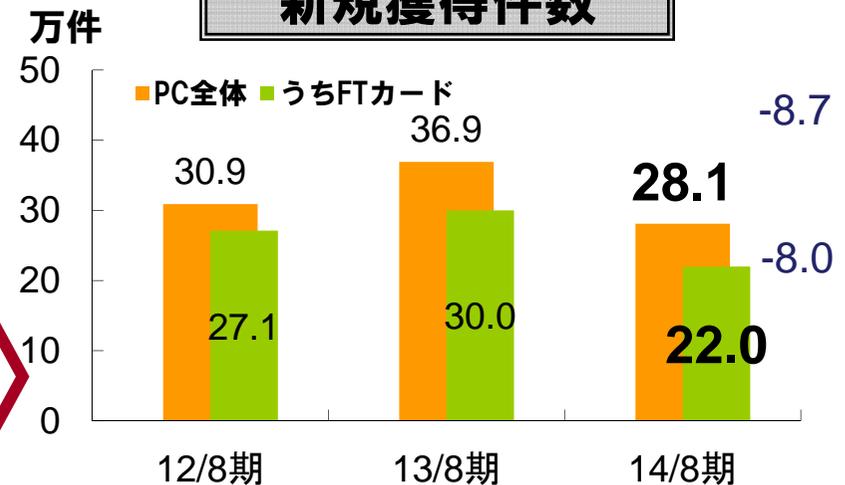
営業数値

7月以降、ファミリーマート社でのポイントカード発行影響により
新規獲得数は減少

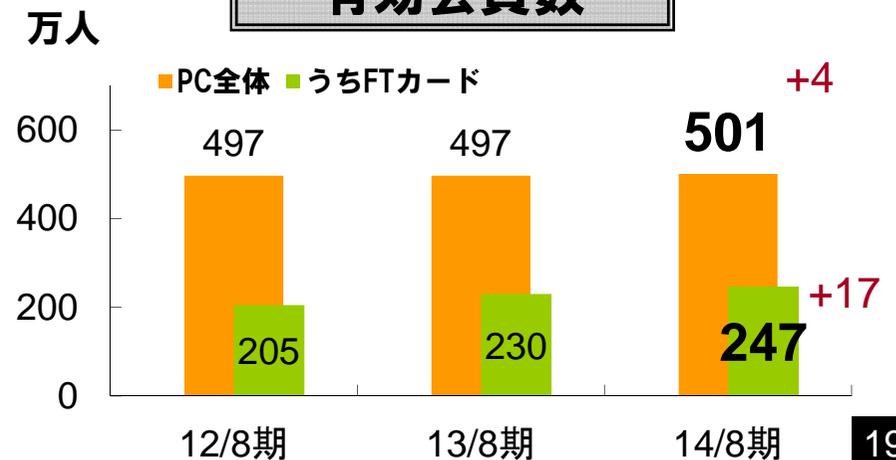
営業数値概況

	14年8月期	前年同期比
① 新規獲得件数	281 千件	-87 千件
② 有効会員数	5,019 千人	+47 千人
③ 利用会員数	1,889 千人	+27 千人
④ 年間利用率	37.8 %	+0.3 pt

新規獲得件数



有効会員数



2014年度下期経営方針

通期業績予想の修正

百万円

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	年間配当 予想
期初予想 (A) (4/10 公表)	35,500	6,300	6,300	3,300	10.0 円
修正予想 (B) (10/9 公表)	35,500	4,700	4,700	2,400	10.0 円
増減額 (B - A)	-	△1,600	△1,600	△900	-
(参考)前期実績	34,174	4,719	4,745	2,733	8.5 円
前期比	+3.9 %	-0.4 %	-1.0 %	-12.2 %	-

主な差異要因

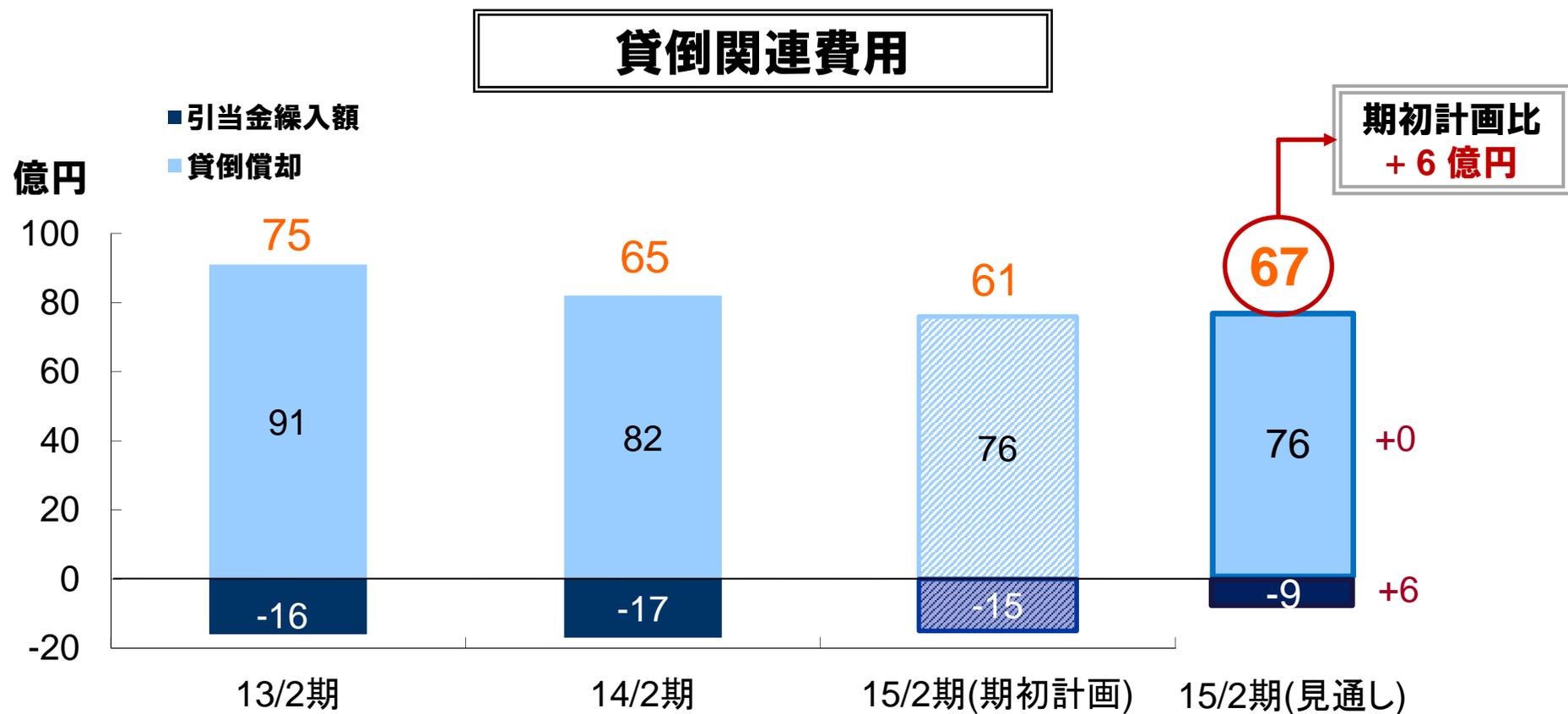
貸倒関連費用及び利息返還関連費用の 期初計画比増加が主な差異要因

億円

	修正予想	期初予想差	前年差
営業収益	355	-	+13
金融費用	15	-2	-2
貸倒関連費用	67	+6	+3
利息返還関連費用	33	+12	+2
貸倒＋利息返還関連費用	100	+18	+5
その他費用	193	+0	+11
営業費用	308	+16	+14
営業利益	47	-16	-0

貸倒関連費用動向

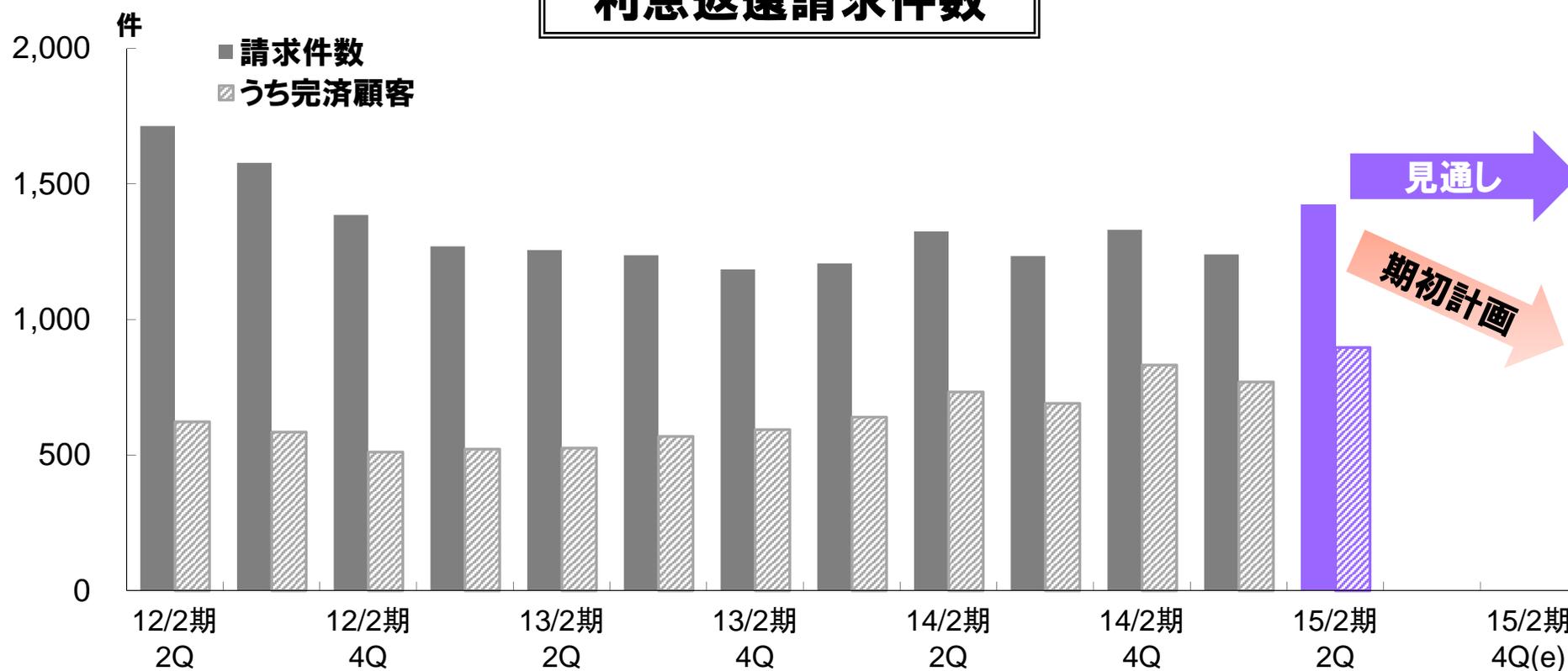
新規介入の増加に伴い貸倒関連費用は増加する見通し



利息返還請求件数動向

期初計画段階では下期以降の緩やかな減少を見込むも、
足下の状況を踏まえ上期と同程度の水準で推移する見通し

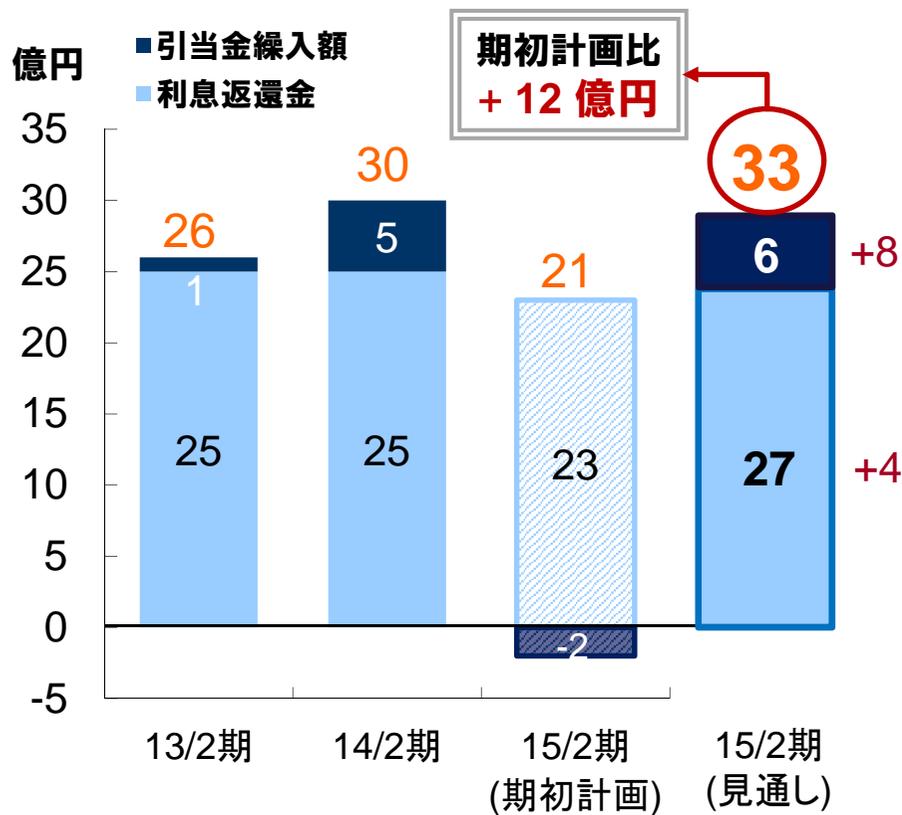
利息返還請求件数



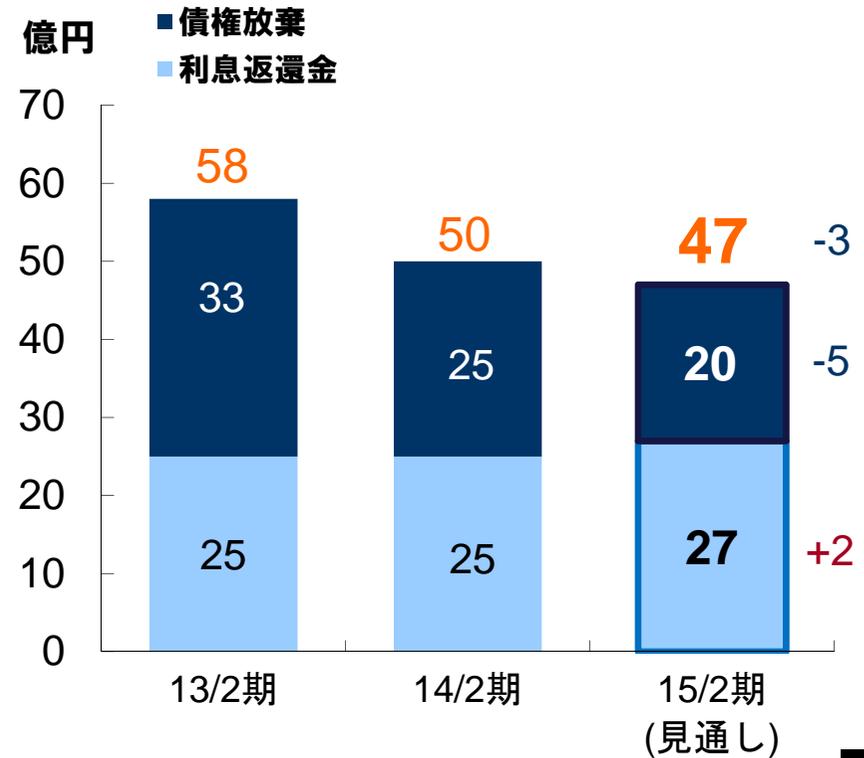
利息返還関連費用動向

利息返還請求件数の高止まりを主因に
利息返還関連費用は期初計画比で増加する見通し

利息返還関連費用



利息返還金+債権放棄



下期重要取り組み事項

「持続的な成長ステージ」へ向けて
上期から引き続きトップラインの拡大に注力

1

成長戦略としてのファミマTカード事業の拡大

2

収益構造の変革と多様化

3

サービス&オペレーションの競争力強化

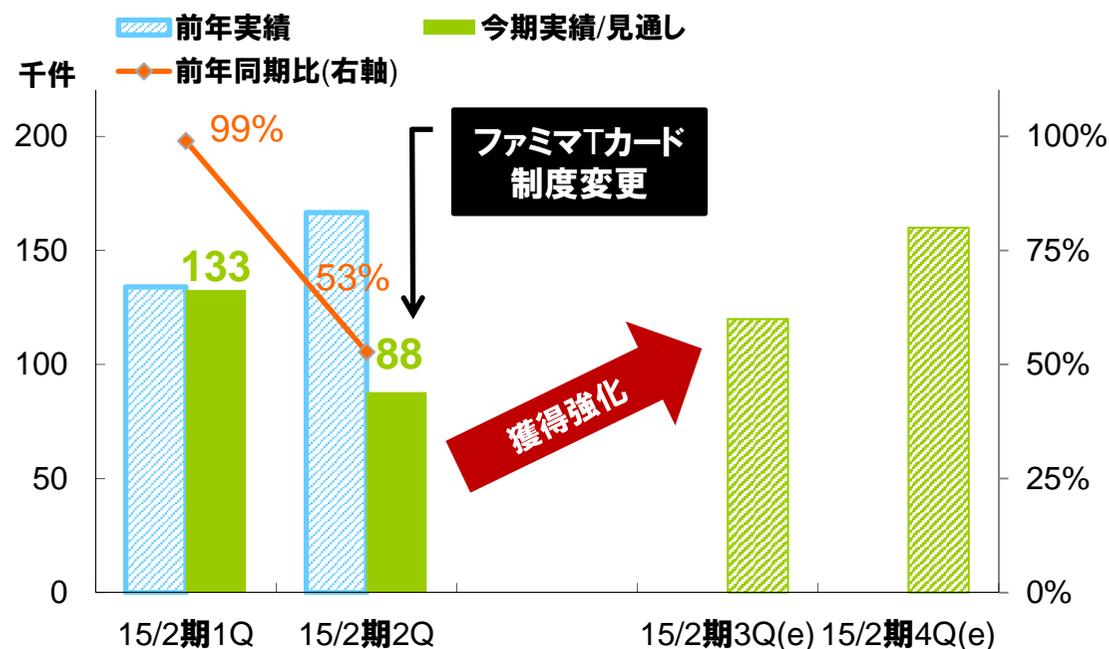
4

コンプライアンス体制の継続的強化

成長戦略としてのファミマTカード事業の拡大①

下期はポイントカード会員からの切替を中心に
新規会員獲得を強化

新規会員獲得



下期重点実施施策

【重点実施施策】

■ ポイント会員からの切替促進

(DM・メール配信、ポイント付与)

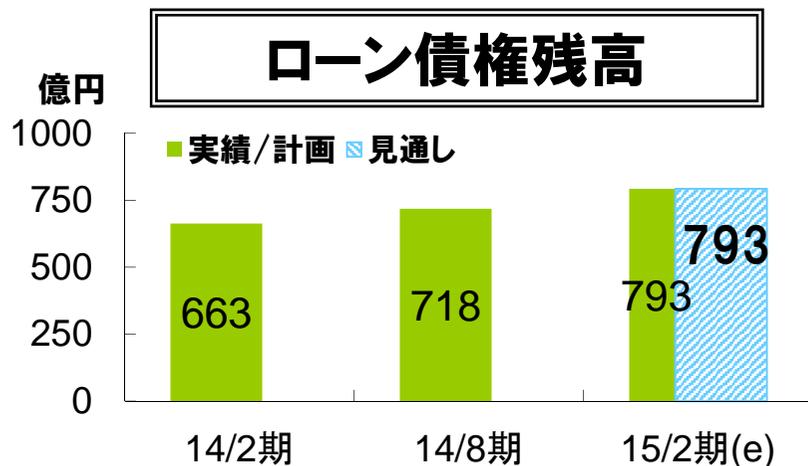
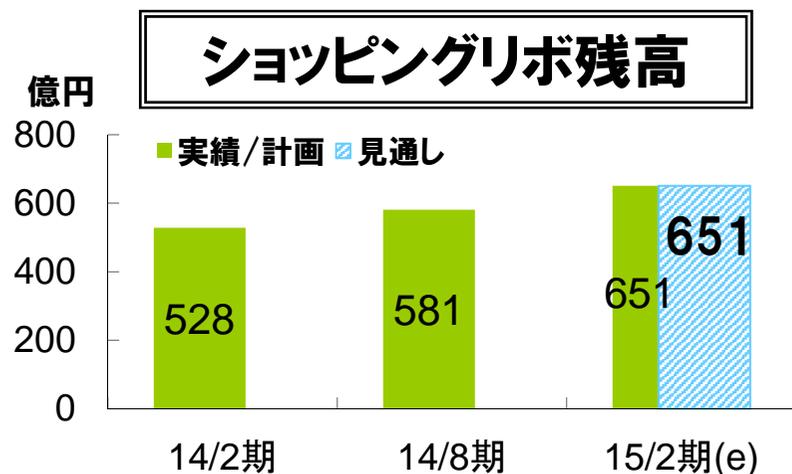


■ 新店OPEN時の獲得強化

■ FM営業拠点への営業支援

成長戦略としてのファミマTカード事業の拡大②

ショッピングリボ残高・ローン債権残高は期初計画通りの進捗
持続的な成長を目指す



通期見通し・下期重点実施施策

【通期見通し】

- ショッピングリボ残高 **651億円**
(前期末比 +123億円)
- ローン債権残高 **793億円**
(前期末比 +130億円)

あなたと、コンビニに、
FamilyMart

【重点実施施策】

- ショッピング取扱高拡大に向けて FM社と連動したキャンペーン実施
- 与信限度額の拡大、効果的な途上 与信によるリスク&リターンの適正化



成長戦略としてのファミマTカード事業の拡大③

国内11,000店舗でのファミマTカード事業の拡大に加え、
下期は「その他金融サービスの提供」に向けて取組を本格化

海外展開等のさらなる事業拡大

その他金融サービスの提供

国内 11,000 店舗での
ファミマTカード事業の拡大



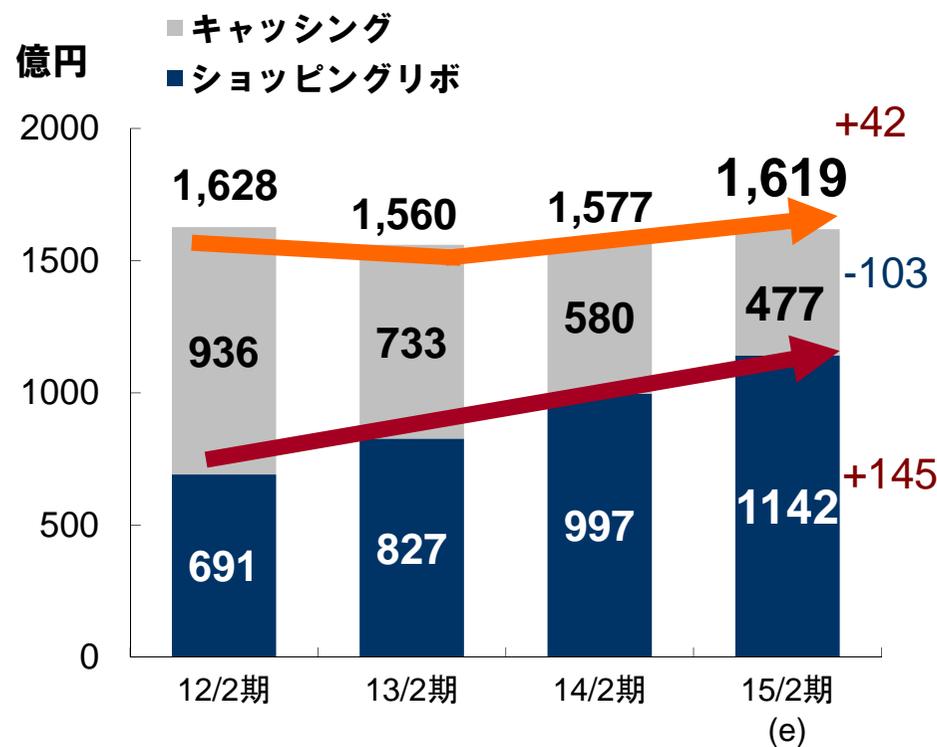
実現に向けた取組本格化

- ローン債権残高拡大に向けた
新型ローン商品投入
- ファミマTカード会員
向け**保険商品販売**

収益構造の変革と多様化

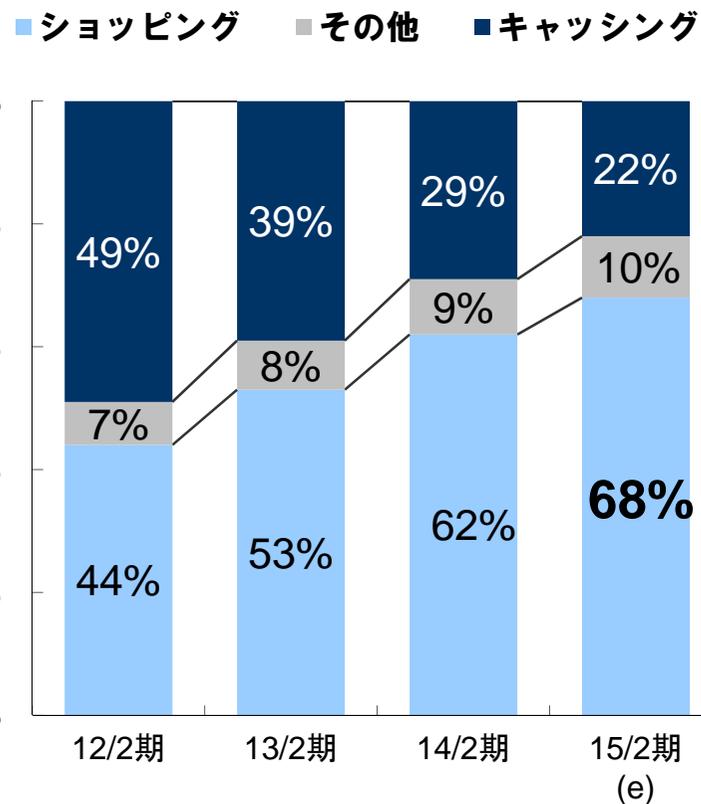
ローン債権残高の増加を通じた増収フェーズへ転換
持続的な収益拡大を目指す

ローン債権残高※



※ローン債権残高=ショッピング残高+キャッシング残高

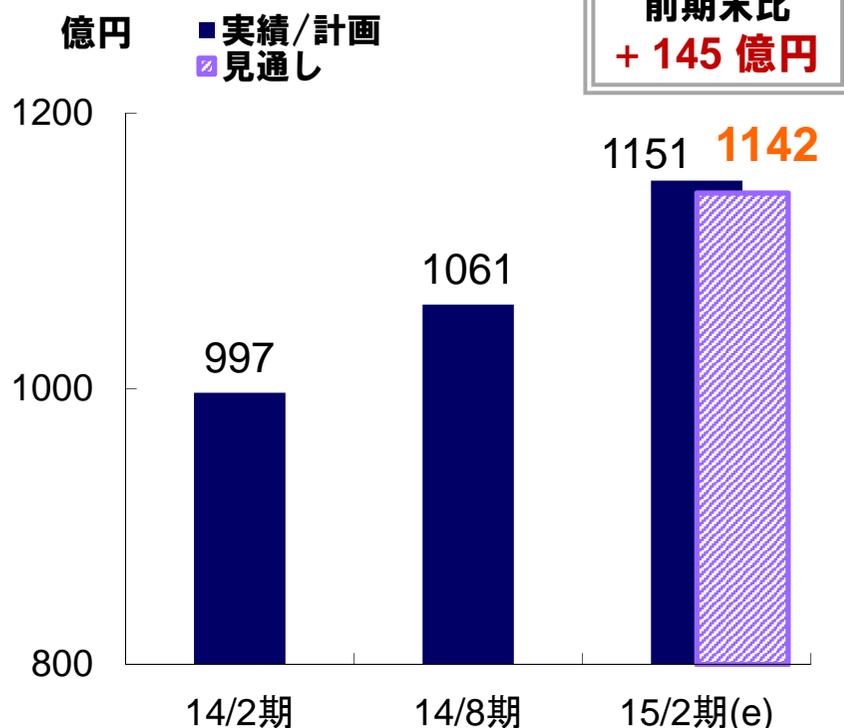
収益構成比



収益構造の変革と多様化（ショッピング事業）

ファミマTカードを中心にショッピングリボ残高の拡大を目指す
残高拡大に向けて引き続き「横積み・縦積み」施策に注力

ショッピングリボ残高



通期見通し・下期重点実施施策

【通期見通し】

- ショッピングリボ残高 **1,142億円**
(前期末比 +145億円)
- ショッピング取扱高 **4,027億円**
(前期比 +210億円)



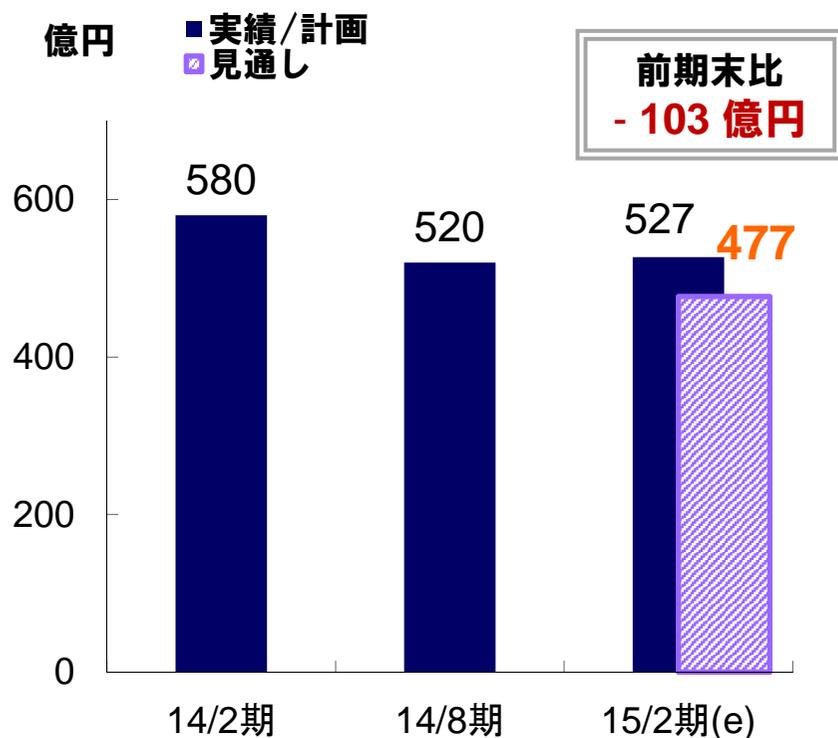
【重点実施施策】

- 新規獲得の強化、新規・既存会員の利用促進 (**利用層拡大＝横積み施策**)
- 与信の精緻化によるリスク&リターンの適正化 (**単価向上＝縦積み施策**)

収益構造の変革と多様化（キャッシング事業）

足下の状況を踏まえ期初計画を見直し、
新商品の導入等取扱高の拡大に注力

融資残高



通期見通し・下期重点実施施策

【通期見通し】

- 融資残高 **477億円**
(前期末比 -103億円)
- 融資取扱高 **330億円**
(前期比 +5億円)

【重点実施施策】

- 優遇金利施策等、新規入会者・既存融資未利用会員への利用促進
(**既存会員基盤の活用**)
- 新商品、新規提携カード、個人事業主向けローン強化 (**新規会員基盤の拡充**)

サービス&オペレーションの競争力強化



商品・サービス水準の向上

- ◆ ニーズに即した新規提携カードの発行
- ◆ Web系新商品の企画・開発
- ◆ 既存提携カードのリニューアル

オペレーション品質の向上

- ◆ システムリスク管理体制の強化
- ◆ センター強化によるお客様満足度の向上
- ◆ コンプライアンスを遵守した適正な業務オペレーションの実施

通期業績見通し

トップラインは期初計画を堅持
修正業績予想達成に向けて尽力

	修正業績予想 (10/9 公表)	前期実績 (単体)	増減率
営業収益	355 億円	341 億円	+ 3.9 %
営業利益	47 億円	47 億円	- 0.4 %
経常利益	47 億円	47 億円	- 1.0 %
当期純利益	24 億円	27 億円	- 12.2 %

免責事項

本資料の記述には、当社の将来の業績に関する見通し、予測が含まれておりますが、これらは現在入手可能な情報からの判断に基づいており、実際の業績は、経済情勢の変化やその他様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

また、本資料の記載内容につきましては細心の注意を払っておりますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。